

第176号

平成16年 12月議会
(2004年)

ふなばし 市議会だより

発行 船橋市議会
編集 広報編集委員会

〒273-8501
船橋市湊町2-10-25
電話 047(436)3012
<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>



ニューイヤーフェスティバル 和太鼓の演奏(写真上)
公園のシンボル デンマーク式粉ひき風車(写真左)

アンデルセン公園

平成8年に開園し、昨年、来園者が300万人を突破しました。自然の中で自由に遊べるワンパク王国。のどかな田園風景が広がるメルヘンの丘。つくる楽しさを体感できるこども美術館。3つのゾーンで、各種イベントを開催しています。

第4回定例会

少年自然の家条例等の一部を改正する条例案を可決
少年自然の家・プラネタリウム館・飛ノ台史跡公園博物館の
使用料等が、市内の中学生以下無料に

平成16年第4回定例会は、12月1日から22日までの会期で開かれました。

会議の経過

12月1日(水)

開会

会期の決定

決算認定の審査報告

及び採決

議案の提案説明

7日(火)

議案質疑

議案の付託

8日(水) 9日(木)

10日(金) 13日(月)

一般質問

14日(火)

一般質問

請願・陳情の付託

16日(木)

議会運営委員会

常任委員会

17日(金)

予算特別委員会

22日(水)

付託事件の審査報告

及び採決

追加議案の質疑、採決

人事議案の採決

100条調査特別

委員会の報告

委員会の報告

議案の採決

閉会



年頭にあたり

船橋市議会議長 小石 洋

市民の皆様には、健やかで希望に満ちた初春を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

昨年は、新潟県中越地震、大型台風が相次ぎ襲来し、防災対策の見直しを余儀なくされた年でありました。市民の安全確保については、最優先課題であり、議会としてのチェック機能を十分に発揮してまいり所存であります。

開かれた議会を目指し、昨年の9月定例会から、インターネット中継を開始しました。お茶の間から気軽に本会議が傍聴できるよう

になりましたので、ぜひ一度ご覧いただき、議会に関心を持っていただければと思います。

皆様、日々、安心・安全に暮らせるまちを築いていくためにも、これまで以上に、公正・公平な議会の運営を心がけてまいります。もちろん、活発な議論を展開し市民の負託に応えたいと思っております。

終わりに、市民の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

主な記事

議案の概要	2頁
議案に対する質疑	2頁
各委員会の動き	3頁
会派新年の抱負	4頁～5頁
一般質問	6頁～8頁
議案議決結果 請願・陳情議決結果	8頁

議案について

議案の概要

予算関係

平成16年度船橋市一般会計補正予算 〔第1号〕
補正額
1億6782万5000円
・心身障害者(児)ホームへLPガス費支援費ほか。
平成16年度船橋市下水道事業特別会計補正予算第2号
・水洗便所化改造工事資金貸付金4000万円の補正
・下水道債利子4000万円の減額補正。

条例関係

船橋市手数料条例の一部を改正する条例 〔第3号〕
船橋市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例 〔第4号〕
法制定に伴い改正するもの。
船橋市青少年センター条例の一部を改正する条例第5号
母子福祉推進員制度の廃止に伴い改正するもの。
船橋市少年自然の家条例等の一部を改正する条例第6号
市内に住所を有する中学生以下の使用料等を無料とするもの。
市長等の給料月額の特例に関する条例の一部を改正する条例 〔第18号〕
引き続き市長等の給料月額を減するもの。

人案件

教育委員会委員任命の同意を求めらるるものについて 〔第19号〕
村瀬光一氏の再任の同意を求めらるるもの。
その他

船橋市東老人福祉センターの指定管理者の指定について 〔第7号〕
船橋市西老人福祉センターの指定管理者の指定について 〔第16号〕

指定管理者の指定について 〔第10号〕
船橋市南老人福祉センターの指定管理者の指定について 〔第11号〕
社会福祉法人船橋市社会福祉協議会を同センターの指定管理者に指定するもの。
船橋市中央老人福祉センターの指定管理者の指定について 〔第8号〕
財団法人船橋市生きがい福祉事業団を同センターの指定管理者に指定するもの。
船橋市北老人福祉センターの指定管理者の指定について 〔第9号〕
社会福祉法人清和会を同センターの指定管理者に指定するもの。
船橋市光風みどり園の指定管理者の指定について 〔第12号〕
社会福祉法人大久保学園を同園の指定管理者に指定するもの。
千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について 〔第13号〕
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について 〔第15号〕
鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。
千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について 〔第14号〕
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の規定に関する協議について 〔第16号〕

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方団体の数の減少に伴う財産処分に関する協議について 〔第17号〕
沼南町が柏市に編入されたことによるもの。

議員提出の議案

船橋市政治倫理条例 〔発議案第3号〕
政治の公正を期するため政治家個人の倫理観の確立及び普遍的な基準を定めるもの。
船橋市危機管理基本条例 〔発議案第4号〕
自然災害や犯罪だけでなく感染症等多岐にわたる危機に対し、本市の危機管理の基本方針を明確にするもの。

可決された意見書

大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書
地震等の自然災害被災者への個人補償拡充に関する意見書
住民基本台帳の閲覧に関する意見書
高齢者虐待防止法の制定に関する意見書
東京湾アクアライン通行料金引き下げの社会実験実施に関する意見書
混合診療導入反対等に関する意見書
介護予防策へのメッセージ 師参画等に関する意見書
WTO・FTA交渉に関する意見書
食料・農業・農村基本計画見直しに関する意見書
緊急地域雇用創出特別交付金制度の継続に関する意見書
北朝鮮に対する経済制裁発動等に関する意見書

質疑

市民社会ネット 浦田秀夫

第1号について
支援費決定に対する不服申し立てなどはないか。
利用者との間で調整困難な事例はない。したがって不服の申し立てはなかったものと認識している。

第7号、8号、10号、11号及び第12号について
公の施設の管理は市が行うべきと考えるが、社会福祉協議会と生きがい福祉事業団が5施設のうち4施設の指定管理者になることは制度の目的に反するのではないか。
20法人が説明会に参加したが、最終的に申請したのは6法人であり、これを選

市清会 興松 勲
市清会は、新風、市清会緑清会、維新の会を代表して質疑を行いました。

第1号について
心身障害者(児)のホームヘルプサービス支援費8800万円の補正額は当初予算の約50%となるが、16年度予算を積算した時点と補正をする時点と比較して対象者がふえたのか。
昨年8月で身体障害者は158人、知的障害者は1

第2号について
水洗便所化改造工事資金貸付金を増額する理由は何か。また現在、貸し付けを受け、返済が滞っている件数は。
過去の実績、次年度の普及率の見込み等をもとに見

第4号について
表記上、「破産」を「破産手続開始の決定」に改めるものであるが、破産によって廃業した事例はあるか。
県から事務移譲を受けて以来、平成16年11月末で破産の届出はない。

第6号について
私たちが主張し、条例も提案してきた無料化が、やっと実現できた。今後、利用者増に伴い、プラネタリウム館周辺の安全確保を早急にすべきでは。
道路整備や安全確保について、関係課と協議したい。

第7号、第12号まで
指定管理者制度は、公の

日本共産党 伊藤 昭博
あり、劣悪な住環境にならないよう、指導するか。法の趣旨からも、事業計画上からも指導はできない。

第1号について
市は、これからの農業をどうするか、きちんとした数値を示した計画書をつくる必要があるのではないか。
今後、都市農業ビジョン策定に当たり、指標化できるものは指標化を図りたい。

市が補助する本町1丁目再開発ビルの大部分はマンションになるが、日照規制のわからない商業地域で

会が未設置なのはなぜか。現在、設置要綱の整備等を準備中。今年度中には設置したいと考えている。

利用状況や業務の実施状況について報告を求め、必要があれば適宜指導を行う。指定管理者に選定された法人は、市幹部職員の下取り先になるのではないかと懸念を表明した結果、選定された候補者を指定管理者として指定したく、その議決をお願いしている。

民主市民クラブ 池沢敏夫

第1号について
本市農産物の他県市場への流出対策は。
出荷団体や大型店等へ働きかけ、協力要請を行う。

第7号、8号、10号、12号について
農協内での選定委員会の決定による。

第9号について
清和会を選定した理由は、非開示とした。

第10号について
条例を一本化して提案しなかつた理由は何か。
早期議会提案、業務範囲制定の必要性等を考慮した

第11号について
清和会を選定した理由は、非開示とした。

第12号について
指定管理者制度導入による利用者のメリットは何か。
高い専門性を持つ支援スタッフ配置により、利用者の特性に合わせた幅広い運用が期待できる。社会的自立支援強化が図られ、継続的に支援業務が展開できる。

第13号について
指定管理者の指定について、個人補償拡充に関する意見書、住民基本台帳の閲覧に関する意見書、高齢者虐待防止法の制定に関する意見書、東京湾アクアライン通行料金引き下げの社会実験実施に関する意見書、混合診療導入反対等に関する意見書、介護予防策へのメッセージ 師参画等に関する意見書、WTO・FTA交渉に関する意見書、食料・農業・農村基本計画見直しに関する意見書、緊急地域雇用創出特別交付金制度の継続に関する意見書、北朝鮮に対する経済制裁発動等に関する意見書

第14号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第15号について
千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第16号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第17号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第18号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第19号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第20号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。

第21号について
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について、鴨川市及び天津小湊町が廃止され、新たに鴨川市が設置されることによるもの。



各委員会の動き

総務委員会

審査事件

議案2案
発議案1案
陳情7件

審査の概要

議案について
第13号及び第14号千葉県自

健康福祉委員会

審査事件

議案9案
陳情2件

審査の概要

議案について
第7号船橋市東老人福祉センターの指定管理者の指定について、第10号船橋市西老人

市民環境経済委員会

審査事件

議案2案
陳情4件

審査の概要

議案について

第3号船橋市手数料条例の一部を改正する条例は、質疑がなく、討論において、「自動車リサイクル法の施行により循環型社会の構築、適正なリサイクルが進むことを評価するが、一時的に放置自動車等の増加が懸念されるので、この対策等についてもしっかり行うよう要望する」との発言があった。採決の結果、全

治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議については、質疑・討論ともなく、全会一致で可決した。

者の対応については、現在でも所管の部署で対策を考えているのではないかと「危機管理の設置について、市側と調整を図ったか」等の質疑があった。

第4号船橋市危機管理基本条例は、「危機管理、公設ボランティアは、具体的にはどのように想定しているのか」「地域防災計画の見直しをして、より充実したものにしていくほうが現実的」「災害弱

また、「何をどう整備するのか、住民の安全をどう守るのが読み取れなかった。危機管理ボランティアの養成は住民管理の体制がつけられるおそれがある」「会派内での議論が十分でなかったように推

測される。また、行政と詰め作業も必要」「地域防災計画を精査・改善し、行政が危機管理意識を持って進めていくことが望ましい」との反対討論、「縦割り行政の弊害等、災害時等にいろいろ問題があるので、この条例は必要」との賛成討論があり、賛成少数で否決した。

1件が採択、6件が不採択となった。

議会運営委員会

審査の概要

発議案第3号政治倫理条例

審査の概要

議案について
第12号船橋市光風みどり園の指定管理者の指定について

予算特別委員会

審査事件

議案第1号及び議案第2号

審査の概要

議案第1号は、予算特別委員会(角田秀穂委員長、川井洋基副委員長外12人)を設置し、審査を行った。

十分練られていない部分があることが判明した」「修正の必要性を認めている以上、一たん取り下げのべきである」との意見があった。

第3回定例会で設置された決算特別委員会(倍田賢司委員長、滝口宏副委員長外12人)は、平成15年度決算(一般会計、特別会計、企業会計)12件について、閉会中の11月9日から3日間わたり質疑を行い、12日に討論・採決を行った。

決算特別委員会

平成15年度決算を認定

また、認定の立場で「駅前総合窓口センターは、夜間や休日の業務時間を拡大して市民サービスの充実を図り、また、市民文化創造館も特色ある事業の実施や文化芸術活動の支援を行い、評価する。保育園や児童ホームの開設のほか、少子・高齢化社会の施策に取り組み、福祉サービスの充実にも努め、評価する。市内コミュニティに格差が生じない地域防災拠点の整備、児童生徒の安全確保のための地域ぐるみ防犯体制の確立を強く要望する」との討論が行われた。

採決の結果、認定12件は、多数または全会一致で、それぞれ認定した。

建設委員会

審査事件

陳情5件

審査の概要

第9号船橋市北老人福祉センターの指定管理者の指定について、委託料の根拠等について質疑があった。

では、「周辺公園数の増減、住民要望の変化もない」との採択意見、「マラン道路が公園の代替となっており、また普通財産移管の動きもない」「国の動きがなく、いつまでも継続審査とすること」は、陳情者に夢と希望だけを与えることになる」との不採択意見があり、継続審査否決

の取下げを承認した。

第5号船橋市青少年センター条例の一部を改正する条例は、賛成討論として「子供たちの学ぶ場を積極的に用意してほしい」「今後、さらに魅力ある施設運営を要望する」「教育的配慮からの無料化は意義がある」「企業努力を促す姿勢を堅持してほしい」「市民が行きたくなくなるよう、

その後、賛成少数で不採択となった。

第6号船橋市少年自然の家条例等の一部を改正する条例は、賛成討論として「子供たちの学ぶ場を積極的に用意してほしい」「今後、さらに魅力ある施設運営を要望する」「教育的配慮からの無料化は意義がある」「企業努力を促す姿勢を堅持してほしい」「市民が行きたくなくなるよう、

第5号船橋市青少年センター条例の一部を改正する条例は、質疑・討論は行われなかった。採決の結果、2案は全会一致で可決した。

文教委員会

審査事件

議案1案
請願陳情2件

審査の概要

議案について

第18号緑地整備(三山8丁目・自衛隊員舎跡地)について

PRに力を入れてほしい」との発言があった。

第5号船橋市青少年センター条例の一部を改正する条例は、質疑・討論は行われなかった。採決の結果、2案は全会一致で可決した。

2件は、いずれも賛成少数で不採択となった。

第5号船橋市青少年センター条例の一部を改正する条例は、質疑・討論は行われなかった。採決の結果、2案は全会一致で可決した。

2件は、いずれも賛成少数で不採択となった。

緑台中央公園及び緑台西公園の清掃業務委託に関する調査特別委員会の報告

本特別委員会は、緑台中央公園・緑台西公園の清掃業務委託に関し、議員が代表契約当事者となること、業務委託団体と実際に清掃業務を行っていた団体との関係、清掃委託料の流れ等の説明を行ったことに伴い、平成16年第2回定例会において設置された委員会として、公園の清掃業務委託について市に質疑を行い、また受託団体の会長であった議員の証人尋問、実際に清掃を行っていた団体の会長等を参考人として出席願

意調査を行った。

なお、一部に議員の資格審査を求める声まで出たことは

会派

新年の抱負

新風

平成17年・2005年
恭賀新年

いま、市議会に新しい風が吹きわたります。
護るべきは守り、
変えるべきは変える。

福祉・医療・環境・教育・都市計画・道路…
市政の各分野で、一騎当千の
スペシャリスト達が、

自由な徹底討論の中から

積極的に提言する、政策の数々。

「新風」の八人のファイターは

今年も市民の代表で活躍します。



いしひし 小石 洋



おおつすか 大津 久



たにぐち 谷口 昭夫



のだ 野田 剛彦



あおやま 斉藤 守



かんだ 神田 広栄



すずき 鈴木 和美



いしわたり 石渡 憲治

市清会

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、地球温暖化がもたらす異常気象が現実となったような、数々の災害が各地で発生しました。一因としては、私たち人間社会が利便性を追求する余りとも言われております。

私たち市清会は、過去の教訓と未来を見据え、「福祉と安全・環境、そして教育」を基調とした社会環境づくりを目指し、市民から負託された責務を全うし、誇りの持てる船橋市を目指しています。

今年もどうぞよろしく。



たにぐち 滝口 宏



さとう 佐藤 新三郎



おきまつ 興松 勲



たけひろ 田久保 好晴



さとう 佐々木 克敏



かわい 川井 洋基



ふじお 藤尾 真子

緑清会

新年明けまして

おめでとございます

私ども緑清会一同は、少子・高齢化問題を始め、環境・都市基盤整備・地域経済の発展等の諸問題に市民の目線に立つて、全力で取り組み議論して参ります。

これからも温かいご支援を賜りますと共に市民の皆様から多量の手紙を拝念いたしました。新春のご挨拶とさせていただきます。



あさの 浅野 正明



はやかわ 早川 文雄



せあま 瀬山 孝一



おちあ 大矢 敏子



きむら 木村 哲也



しちべ 七戸 俊治

維新の会

新春のお慶びを申し上げます。

船橋の変遷は人口にも現れています。

昭和40年には約22万人ですが、

平成16年には約56万8千人。

長く船橋にお住いの方も、

新たに船橋をお選びになった方も、

「住んでよかった船橋」と、みんなで

思える街づくりを提案して参ります。



わだ 和田 善行



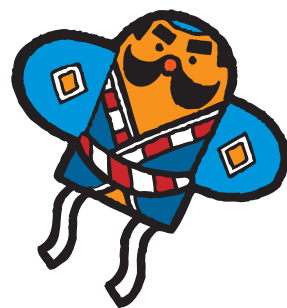
さきはら 佐原 正幸



なかむら 中村 実



かどた 門田 正則



公明党

市民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年中は、大変お世話になり誠にありがとうございました。公明党は昨年結党四十年を迎えました。この間、常に「大衆とともに」の姿勢を貫き、庶民・大衆を離れず庶民の願いをわが願いとして行動してまいりました。

現在の社会情勢を見ると、少子高齢化や社会保障の存続に対する不安、災害や犯罪に対する不安などが市民の間にも広がりつつあります。

今後「希望の時代」の構築のため、こうした市民の不安を安心に転換させるため、今日ほど明確な将来展望の提示と具体的行動が求められている時代はありません。船橋市が将来にわたり魅力ある都市としてありつづけるために、市議団九名は団結して頑張ってまいります。



かんばやしけんじろう
上林謙二郎



むらた いちろう
村田 一郎



まいだ けんじ
倍田 賢司



すずき いくお
鈴木 郁夫



たかぎ てるあき
高木 明



さいとう ただ
斎藤 忠



いしざき ゆきお
石崎 幸雄



まつざき ゆうじ
松崎 裕次



つのだ ひでお
角田 秀穂

日本共産党

新年おめでとうございます

悪政に怒りの声をあげましょう

市の福祉が改悪されています。高齢者医療費助成や遺児手当などで年11億円の削減です。その上、年金改悪、税の老年者控除の廃止、今年は定率減税廃止が計画され、弱い者いじめの政治となっています。

8人の力で市民の願い実現に全力で奮闘します

昨年は、国保料据え置き、議員が関係する団体との契約をやめるなど、契約制度の透明化、老朽化している学校改修の改善など実現することができました。市民の一番の願いは「国保料の引き下げなど暮らしを守ること」となっています。大規模開発計画はやめさせ、市民の願いを大事にする真の自治体に転換していきましょう。



いわい ともこ
岩井 友子



いとう あきひろ
伊藤 昭博



いしかわ としひろ
石川 敏宏



さとう しげお
佐藤 重雄



くさの たかのり
草野 高徳



かなざわ かずこ
金沢 和子



たかはし てる
高橋 忠



せきね かずこ
関根 和子

民主・市民クラブ

福祉を大切に、高齢者や障害者にやさしい街に

環境を大切に、人と自然にやさしい、緑ゆたかな街に
男女共同参画を推進し、のびやかに生きられる街に
市民の声を大切に、市民本位の市政をめざします
住んでよかった、生まれてよかった、そういう街、船橋を
二〇〇五年が、平和で心ゆたかな年でありますように



ちば みつはる
千葉 満



あんどう のぶひろ
安藤 信宏



いけざわ としお
池沢 敏夫



こもり まさこ
小森 雅子



さいとう まこと
斎藤 誠

市民社会ネット

あけましておめでとうございます

私たちは、それぞれの持ち味を生かした議会活動を、元気に行っています。

是々非々の態度で臨む議論など、毎日の活動は、各々のホームページでもご覧いただけます。

市民に身近な議会を目指して、さらに3人の連携をすすめてまいります。



よこ けいこ
横 啓己子



うらた ひでお
浦田 秀夫



さとうももよ

ここがききたい 一般質問

新風

石渡 憲治

船橋市地域防災の応用

問 新潟中越地震から学ぶべきことは。

答 避難所の管理運営、車中避難者の問題、住宅の耐震性の確保など、さまざまな見直しを行い、追加や修正点があれば取り組んでいく。

問 新潟の被災地に行き、トイレ不足で困っているとの生の声を聞いた。仮設トイレの設置を防災訓練で行う必要があるのではないか。

答 防災訓練の訓練項目に入

市清会

佐藤 新二郎

街中の危機管理を

問 木戸川の洪水時での危険水位の設定や洪水対策、警報等の対応はどのようになっているのか。

答 下流側の水位表及び周辺の状況を観察し、今後危険水位を検討していく。また、現在、根本的な解決のため改修事業を行っている。

問 核家族化が進み、荒れ放題の空き家が増え危険である。防犯等の対策をどうするか。

答 民地であるため所有者の責任であるが、地域住民の安全の点から、関係各部署及び関係機関と連携し対処していく。

市長のまげんこうごころ

問 まちづくりの1つの施策

れることを考えている。

谷口 昭夫

北総鉄道の通学定期代補助の実施について

問 利用者は代替交通もなく高額運賃に悲鳴を上げている。学生の定期だけでも補助をして家計の負担を軽減する必要がある。再度実現を求めるがどうか。

答 心情的には助成をしたいが、市全体を考えると1路線だけ助成することは困難と判断せざるを得ない。

教育長の教育方針

問 頻繁する青少年の凶悪事件や学生の学力低下などを背景として、今後の船橋市

として、23地区コミュニティ市民懇談会の評価をどうするか。

答 現在、市政に市民との協働が求められている。市民懇談会で市政への理解や市政を身近に感じてもらうことにより、市民参加、協働も進むと考えている。

問 平成12年に策定した総合計画は、急激な時代の変化の中で修正を加える部分が生じていると考えるが、取



街中の危険対応を(氾濫する木戸川)

り組み状況はどうか。

答 個別の計画、将来を見据えた主要事業については、計画に加えることや視点を

の教育は何を目指すのか。

答 教育は国づくり、まちづくりの根幹をなすものである。これを念頭に置き、策定した教育施策「ふなばしの教育」の実践に努力する。

斎藤 守

坪井地区の公共施設

問 地域住民が集える施設の建設はどのようになっているのか。

答 まちの成熟度に合わせ整備をしていく。

問 成熟度を待っていたら土地の取得が困難になることも考えられる。早急な対応が必要ではないか。

答 どのような施設が望ましいか、船橋市コミュニティ行政推進会議で取りまと

滝口 宏

児童ホームについて

問 不審者侵入等の緊急非常時に、外に向けて異常を知らせる防犯スピーカーの設置や警察への通報システム等の防犯対策が必要ではないか。

答 今年度から設置された市民防犯課との連携も含め、必要な対策をとっていき

問 屋内型の遊ぶ施設として、エアコンの設置が必要ではないか。

答 計画的に整備できるように検討していく。

漁業振興について

問 今年の春から三番瀬のサリの密猟があり、漁業組合が防止パンフレットの配布や監視を行っているが効

果が余りない。市の支援策をどうするか。

答 千葉海上保安部、船橋警察署等との連携を図り、積極的に支援していく。

藤尾 真亨

三位一体の改革について

問 税源委譲が2兆4160億円に決定されたが、地方への権限委譲という面も含め、市としての考えは。

答 金額的には不十分と考えられている。地方分権推進の改革になるよう、国に働きか

問 国は市場化テストという新たな行政改革手法の導入を提言したが、この手法をどう考えるか。

答 国において試行的導入の準備段階であることから、

アウツソーシング

市の仕事と

問 国は市場化テストという新たな行政改革手法の導入を提言したが、この手法をどう考えるか。

答 国において試行的導入の準備段階であることから、

問 権限委譲後の財政面での努力目標と今後の前向きな活動方針を伺う。

答 自主、自立的な行政運営と低コストでの質の高い市民サービスを提供するため、縦割り行政ではない施策の展開や職員一人一人の意識改革が必要と考える。

問 地域で実施している青少年の犯罪防止の取り組みに格差がある。格差を縮める対策は。

動向を注視していく。

大沢 久

市内交通渋滞の緩和策

問 都市計画道路52路線が完成すれば渋滞の緩和になると言っているが、これでは何年先になるか判らない。今の状況で最善策を考へべきではないか。

答 都市計画道路の整備促進と交差点の右折レーンの設置やバスベイスの設置を行い渋滞対策に努めていく。

球場の確保策について

問 高瀬グラウンドは将来下水処理場となり、その2階部分は多目的広場と野球場をつくると言っているが、現



地域住民の施設建設が望まれる坪井区画整理地区

在の規模を確保できるのか。

答 現在の規模は難しいため用地を求め球場を確保する必要がある。用地の確保施設整備に向け努力をする。

神田 廣榮

広報ふなばし等の配布方法

問 町会・自治会への交付金増額と、未加入世帯の減少に、新聞折り込みを町会・自治会による全戸配布にし、経費の転嫁を提案するがどうか。

答 可能かどうか自治会連合

民主・市民クラブ

安藤 信宏

早期がん発見への具体策

問 市のがん検診でのがん発見率が、0.165%という現状の改善策は。

答 精密検査必要者への受診勧奨の実施、毎年検診を受ける重要性の啓発、また受診率の向上である。

問 毎年、1000人以上の市民ががんで亡くなっている事実から、異状を認めずにとされた方も統計確率的に亡くなっているのでは。

答 因果関係は明らかではないが、未受診者が多いことも事実である。

屋内ラジオ型

防災行政無線機の設置を

問 市の封筒広告事例を生かして、スピーカー受信機を買い上げてもらい、要介護者へ無償配布できないか。

協議会とも相談する。

高齢化時代に即した施策

問 敬老祝い金などお金を配る事業を見直し、生きがいづくりのための事業を増やす必要があるのではないか。

答 限られた財源の有効活用に向け、生きがいづくりのための支援をしていく。

鈴木 和美

乳幼児の予防接種

問 接種後の副反応の心配から、翌日休診日が多い土曜

小森 雅子

病後児保育施設の充実を

問 昨年の第2回定例会での質問に、施設増設の必要性がある答弁であったが、その後の進捗状況を伺う。

答 具体的な予定がない状況であるが、医師会等に協力をお願いしている。

問 マンション等で新規開業する場合は設置補助制度として、家賃補助等の制度が必要ではないか。

答 今後、検討していく。



若者雇用の拠点「ちば若者キャリアセンター」

若者の雇用対策について

問 具体的な雇用対策を伺う。若者キャリアセンターと連携し、市内企業団体へ求

日には接種ができないのでは。家族負担の少ない週末接種の対策はないか。

答 日曜診療の要望があることを医師会に伝える。

防災備蓄について

問 避難施設内にオムツ交換場所や授乳室の確保が必要ではないか。

答 確保を考えている。問 粉ミルクや哺乳瓶、乳幼児用オムツなどのベビー用品は備蓄されているのか。

答 現在備蓄していないが、検討する。

斎藤 誠

(仮称)小児救急センターの設置について

問 第1回定例会で医療センター内に設置を提案したが、検討結果を伺う。

答 医師会と協議を重ねたが、医師数の不足等から延期となった。今後は、医師会等による「小児救急を考える会」で検討していく。

下水道接続工事について

問 既存管を利用した本管への接続工事は、詰まりやすく、また詰まり等は契約者の責任という確約書の提出があり、業者によっては十分な説明がなくトラブルの原因となっている。新設管の利用を完全義務化し、確約書を廃止すべきでは。

答 費用負担や施工の問題等から既存管を利用している。今後、工事業者への説明責任について指導していく。

公明党

松壽 裕次

防災と福祉が融合する
地域づくり

地域づくり

問 防災活動と福祉活動の連携は必須と考えるがどうか。

答 地域の助け合いの仕組みを再構築した上で地区社会福祉協議会を中心に、町会自治会、民生児童委員協議会等が協力し災害弱者の把握に努める。防災訓練、自主防災組織の強化及び民間の災害ボランティアセンターの立ち上げ等も進める。

次世代育成支援行動
計画について

問 より身近な場所での子育てサービスへの対応を伺う。

答 高野台地域の新京成バス井草線延伸の対策を伺う。今般バス折り返し場所が確保でき延伸可能となった事業者へは、道路状況から一層の安全走行をお願いした。なお、道路は全線の舗装打ち換えも検討し、平成17年度から整備を行う。

雨水時の対策は

問 咲が丘の通称大原道路に

として、来年度の市長選挙に再度立候補し、まちづくりに全力を注ぎたい。

高校総体の準備は万全か

問 2005千葉きらめき総体の準備状況を伺う。

答 今年度は広報啓発活動を中心に行い、来年度の事務局増員に伴い、年明けから実行委員会事務局を運動公園管理事務所一階に移し、綿密な準備作業を進めていきたい。

市長の三選出馬決意を

問 二期目を終了目前に、船橋市のまちづくりの思いと三期目の出馬の考えは。

答 今、地方自治体は大きな変革期を迎えている。財政的に、今後厳しい状況が続くものと思われるが、地理的にも人的にも優れた面を持っているので、その一つ一つを生かす必要が大きい。飛躍できる都市と確信している。

この優れた可能性を引き出しながら、市長就任以来持ち続けている「市民に開かれた清潔な市政」を信条

実施責任を考慮し、子育て支援センターを核に、児童ホームとの連携強化で対応する。具体的には、乳幼児親子対象事業の増加や職員体制の見直しを行い、施設の充実も関係部課と協議していく。

鈴木 郁夫

交通不便地域の現状と今後の対策

問 高野台地域の新京成バス井草線延伸の対策を伺う。

答 今般バス折り返し場所が確保でき延伸可能となった事業者へは、道路状況から一層の安全走行をお願いした。なお、道路は全線の舗装打ち換えも検討し、平成17年度から整備を行う。

西船橋駅周辺の公共施設について

問 (仮称)西部地区消防保健センターの裏口への進入路の検討について伺う。

答 施設に緊急時用開口部を設置することとなったため、進入路を歩行者専用通路として、オープンまでに全面整備する。出入口は通常の業務時間帯も利用できるようにする。

西船橋出張所への歩道整備を

問 張所への道路は、歩道整備が急務であるがどうなっているのか。

答 平成15年度から5年計画で着手し、今年度末の用地取得の進捗見込みは約26%である。歩行者の安全、渋滞緩和等の目的で、可能な箇所から早期に着手する。

高木 明

西船橋駅周辺の公共施設について

問 (仮称)西部地区消防保健センターの裏口への進入路の検討について伺う。

答 施設に緊急時用開口部を設置することとなったため、進入路を歩行者専用通路として、オープンまでに全面整備する。出入口は通常の業務時間帯も利用できるようにする。

倍田 賢司

介護予防について

問 本市の取り組みを伺う。

答 駅ホーム、二階が改札口及びコンコースとなる。19年度中に、フェイスビル二階部の自由通路とデッキが接続。環境側道の整備は20年度で事業は完了。

木村 哲也

全庁的・全市的な防犯対策を

問 地域・学校・警察・行政が連携して防犯活動を行う全庁的・全市的な防犯対策を、本市の組織の設置時期は。

事業完了までの予定は、平成16年11月、上り線運行。下り線は、18年度中に完了し、京成船橋駅三階が



横断歩道の安全対策を

事業完了までの予定は、平成16年11月、上り線運行。下り線は、18年度中に完了し、京成船橋駅三階が

事業完了までの予定は、平成16年11月、上り線運行。下り線は、18年度中に完了し、京成船橋駅三階が

事業完了までの予定は、平成16年11月、上り線運行。下り線は、18年度中に完了し、京成船橋駅三階が

保健師等の専門職が介護予防を行う仮称地域包括支援センターをどのように立ち上げるか、その機能役割について検討している。

働く女性の支援

問 本市の取り組みを伺う。

答 母子家庭の母に対しては、就労のための資格講習等を実施し、その間可能な部分で託児サービスも行う。また、常用雇用した事業主に助成制度もある。相談業務については、今後も事業の充実をしていく。また、保育園の待機児童対策も重要であり、今後の課題として取り組んでいく。

村田 一郎

高齢者虐待防止対策

問 虐待防止の取り組みについて伺う。

答 22%減少した要因は、町会・自治会の防犯パトロール隊の結成、警察署緊急雇用委託員を活用した地区パトロール、市民防犯課の設置などが考えられる。

中村 実

男女共同参画について

問 男女共同参画は法律ができた後に議論を深めなければならないという本末転倒な事態が生じている。議論の余地を多く残している以上、多種多様な見解が尊重されなければならないと感じている。精神的な自由がより尊重される男女共同参画であることを強く望むものであるが、本市の施策の中には疑問を感じてしまうものがあることも否定できない。今後、船橋市の男女共同参画施策をどのような心構えで進めていくか、見

石崎 幸雄

骨髄提供希望者登録推進事業

問 中央保健所、日赤献血ルーム、フェイスなどで登録できないか。また、啓発について伺う。

答 効果的推進のため関係機関とも改めて協議していく。また、今後もより多くの方の登録を呼びかけていく。

浦田 秀夫

大規模災害時災害弱者の把握と対策は

問 地域防災計画で災害弱者の把握は行っているのか。

答 高齢者、障害者、幼児等要援護者の所在を把握する

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民社会 ネット

さとう ももよ

女性センターへの中傷 行政の対応は

女性センターへの中傷

問 一議員のホームページに、同センターへの中傷記事が掲載されたことを承知しているか。また、公的に削除は求めたのか。

答 承知しているが、削除は求めていない。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

維新の会

中村 実

男女共同参画について

問 男女共同参画は法律ができた後に議論を深めなければならないという本末転倒な事態が生じている。議論の余地を多く残している以上、多種多様な見解が尊重されなければならないと感じている。精神的な自由がより尊重される男女共同参画であることを強く望むものであるが、本市の施策の中には疑問を感じてしまうものがあることも否定できない。今後、船橋市の男女共同参画施策をどのような心構えで進めていくか、見

問 待機児童の解消策として、具体的な計画があれば伺う。

答 緊急性は十分認識している。民間活力のほか、市遊休地等の活用など検討する。問 私立幼稚園に補助し、保育事業を行う考えは。

答 市内でも預かり保育を実施している幼稚園があるの

問 地域・学校・警察・行政が連携して防犯活動を行う全庁的・全市的な防犯対策を、本市の組織の設置時期は。

答 仮称船橋市市民防犯推進協議会は、今年度内を予定

問 事業完了までの予定は、平成16年11月、上り線運行。下り線は、18年度中に完了し、京成船橋駅三階が

事業完了までの予定は、平成16年11月、上り線運行。下り線は、18年度中に完了し、京成船橋駅三階が

市民社会 ネット

さとう ももよ

女性センターへの中傷 行政の対応は

女性センターへの中傷

問 一議員のホームページに、同センターへの中傷記事が掲載されたことを承知しているか。また、公的に削除は求めたのか。

答 承知しているが、削除は求めていない。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。

市民との協働にNPOの活用を

問 NPOとの協働のメリットをどう考えているのか。

答 NPOの蓄積した専門性ノウハウの活用である。問 受託などのパートナー選定は、公募と選定過程を明らかにすべきでは。答 公募と過程を明らかにすることで、より市民参画が図られると認識。方策を所管部署と考える。努力していく。



耐震対策を実施した小学校



女性センター

日本共産党

岩井 孝

介護保険について

問 利用料助成制度が新基準になり、在宅サービスが利用できずにいる市民へ機動的な対応はできないか。

答 1年間の調査結果を見る必要がある。

問 「新・予防給付」の創設により、軽度要介護者が排除される危険性がある。実態調査を行うべきでは

答 方法などを研究する。

子育て支援の充実を

問 保育所の待機児童解消のため、地区ごとの実態把握と施設整備計画を考へるべきではないか。

答 待機児童の状況を見ながら、定員枠の拡大と保育園の新設を進めていく。

高橋 忠

こみの減量について

問 数値目標を定めた年次計画の策定や住民参加の対策を進めるべきではないか。

答 目標管理方式によるごみ減量再資源化計画を市民参加で策定し対応していく。

問 ペットボトル等の分別収集を徹底できないか。

答 清掃工場の建て替え時に回収や処分等を検討したい。

住宅リフォームへの助成を

問 地域経済活性化対策として、市民へのリフォーム助成制度を創設できないか。

答 地震等に備えた住宅政策、防災対策上の新たな施策も

必要であり、リフォーム制度のみの新設は難しい。

関根 和子

京成線の高架下有効活用

問 高架下活用計画の策定は、全庁内から意見を聞き、計画を立案し、県や京成電鉄と協議していく。



京成線の高架下有効活用を

問 若者が健全に集える施設の設置はできないか。

答 中高生たちの居場所づくりの場を検討する。

児童ホームの整備について

問 大穴、二和、本町、中山地区への整備計画を伺う。

答 用地取得の財政問題もあり、他の公共施設との併設で対応したい。

金沢 和子

一日も早い生活保護決定を

問 生活保護法によれば、扶養調査が終了しなくても保護を開始することは可能である。扶養調査を理由に保護の決定を遅らせることはやめるべきではないか。

答 扶養義務調査は重要な調査であるが、今後は調査期間の短縮に努め調査内容についても県と協議していく。

安全で安心な学校について

問 市内の小中学校の校舎で

は耐震診断対象校が7校あるが、校舎の診断済みは49校、体育館はわずか1校。診断を終わらせて、1日も早く補強工事の年次計画を立てるべきではないか。

石川 敏宏

市長の政治姿勢

問 安全を期することを考えており、予算の許す限り対応していく。

草野 高徳

防災対策について

問 災害時の緊急避難場所、飲料水確保の応急施設としてマンションを生かせないか。管理組合に協力を申し入れてはどうか。

答 管理組合との協議を含め研究してみたい。

飯山満土地区画整理事業

問 アクセス道路は区画整理事業と切り離し、買収して先行させること。また「懇親会」等で住民に進捗状況を説明すべきではないか。

答 道路用地だけを先行整備する考えはない。地区計画

船橋市の教育の進め方

問 教育基本法が改正されようとしている。現行法の精神に沿った教育を進めることが重要ではないか。

答 教育基本法は、すべての教育法規の根本を定めたものであり、これを尊重し、遵守していく。

を決定する時点で周辺住民と協議できるか検討したい。

お知らせ

次の定例会は2月24日(木)開会の予定です
 請願・陳情の受理期限は、2月23日(水)午後5時です。
 インターネットによる本会議の生中継・録画の放送を行っています。
<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>

「市議会だより」に対するご意見・ご感想をお寄せください。

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
 船橋市議会 広報編集委員会
 電話 047(436)3012
 FAX 047(436)3013
 Eメール gikaishomu@city.funabashi.chiba.jp

議案議決結果								
議案番号	件名	各会派の賛否						議決結果
		新	市	緑	維	公	共	
議案第1号	平成16年度船橋市一般会計補正予算						×	可決
議案第2号	平成16年度船橋市下水道事業特別会計補正予算							可決
議案第3号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例							可決
議案第4号	船橋市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例							可決
議案第5号	船橋市青少年センター条例の一部を改正する条例							可決
議案第6号	船橋市少年自然の家条例等の一部を改正する条例							可決
議案第7号	船橋市東老人福祉センターの指定管理者の指定について						×	可決
議案第8号	船橋市中央老人福祉センターの指定管理者の指定について						×	可決
議案第9号	船橋市北老人福祉センターの指定管理者の指定について						×	可決
議案第10号	船橋市西老人福祉センターの指定管理者の指定について						×	可決
議案第11号	船橋市南老人福祉センターの指定管理者の指定について						×	可決
議案第12号	船橋市光風みどり園の指定管理者の指定について						×	可決
議案第13号	千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について							可決
議案第14号	千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について							可決
議案第15号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について							可決
議案第16号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について							可決
議案第17号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分に関する協議について							可決
議案第18号	市長等の給料月額の特例に関する条例の一部を改正する条例							可決
議案第19号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて							可決
発議案第3号	船橋市政治倫理条例	×	×	×	×	×	×	否決
発議案第4号	船橋市危機管理基本条例	×	×	×	×	×	×	否決

・賛成 (新)新風 (市)市清会 (緑)緑清会 (維)維新の会 (公)公明党 (共)日本共産党
 × - 反対 (民)民主・市民クラブ (し)市民社会ネット

請願陳情議決結果			
付託委員会	受理番号	件名	議決結果
総務	陳情第41号	市役所内での化学物質を含まない石けん使用に関する陳情	×
	陳情第42号	救急搬送支援システムM-MOCS導入の意見書提出に関する陳情	×
	陳情第43号	二輪消防車導入に関する陳情	×
	陳情第44号	東京湾アクアライン通行料金引き下げの社会実験実施の意見書提出に関する陳情	(全会一致)
	陳情第45号	原子力発電所の安全点検の意見書提出に関する陳情	×
	陳情第46号	新防衛大綱見直しの意見書提出に関する陳情	×
	陳情第47号	イラクからの自衛隊撤退の意見書提出に関する陳情	×
健康福祉	陳情第48号	混合診療導入反対等の意見書提出に関する陳情	(全会一致)
	陳情第49号	介護予防策へのマッサージ師参画等の意見書提出に関する陳情	(全会一致)
市民環境経済	陳情第50号	最低保障年金制度創設等の意見書提出に関する陳情	×
	陳情第51号	大規模墓地造成の建設反対(馬込町・金杉町)に関する陳情	(賛成多数)
	陳情第52号	WTO・FTA交渉の意見書提出に関する陳情	(全会一致)
建設	陳情第53号	食料・農業・農村基本計画見直しの意見書提出に関する陳情	(全会一致)
	陳情第54号	アイダ設計による住宅開発(前貝塚町)に関する陳情	(賛成多数)
	陳情第55号	葬祭場ファミリーユ津田沼店(前原西2丁目)の営業反対等に関する陳情	(賛成多数)
文教	陳情第18号	緑地整備(三山8丁目・自衛隊官舎跡地)に関する陳情(継続審査事件)	×
	陳情第34号	南船橋ビビットスクエア建設工事の安全管理に関する陳情(継続審査事件)	取り下げ承認
文教	陳情第35号	斜面緑地の保全(前原西8丁目)に関する陳情(継続審査事件)	(賛成多数)
	陳情第56号	教育基本法改正反対等の意見書提出に関する陳情	×
請願第3号	教育予算増額等に関する請願	×	

採択 × 不採択 継続審査